



アメリカオニアザミに注意を!

ここ数年、町内各所で「アメリカオニアザミ」という外来植物が目立っています。この植物は、繁殖力が非常に強く、堅く鋭いトゲを持つため、うかつに触ると大変危険です。敷地内でアメリカオニアザミを見かけた場合は、トゲに十分注意して抜き取るか紫色の花が咲く茎の先端部分を切り取っていただきますようご協力をお願いします。



問合せ リサイクルプラザ ☎557-0544

みずほ ◆ きらめき回廊



21 みずほきらめき回廊ウォーキングマップを作成しました

このマップは、みずほきらめき回廊の基本ルートとともに阿豆佐味天神社や福正寺などの寺社や、狭山丘陵の名所や豊かな自然など、さまざまな町の見どころを紹介しています。ウォーキングマップを片手に四季折々の魅力を探しに散策してみたいはいかがでしょうか。

ウォーキングマップは箱根ヶ崎駅のほか、けやき館、瑞穂町役場、ふれっしゅはうすなどの町内施設で配布しています。また、町ホームページでも公開しています。ぜひ、ご覧ください。



click!  
今月の表紙



東京狭山茶、初摘みでの1ショット。

みずみずしい茶葉の香りをまとい、笑顔で軽やかに、かごを運ぶ姿が印象的でした。

一年に一度の新茶の季節。皆さんも今しか飲めない新茶を味わってみませんか。

町長室から



▲瑞穂町図書館前で

瑞穂町図書館は、防衛施設庁（現防衛省）の補助を受けて、昭和48年に建設され、その後数度の改築を経て現在の建物となっています。郷土資料館が併設されていた時期がありましたが、平成26年に郷土資料館「けやき館」に、その機能を移転しています。

開館当時は、スマートフォンはありませんでしたので、図書に対する需要が高く、各種情報と資料の提供が図書館の役割の主流でした。しかし、時代とともに図書館は、本の貸し出し機能だけでなく、もっと身近なサービスの展開、活字の大切さや各種情報伝達という大きな役割を担うようになっています。学校図書室との連携、図書館を使った調べる学習コンクールの開催、近隣市町村とも連携した広域的利用の拡

大や、インターネット予約などとともに、町内の地域資料のデジタル化事業も実施しています。

建築後45年以上が経過した図書館は、エレベーターや車いす対応も不十分で、必ずしも使いやすいものではなく、設備も古くなってしまいました。平成26年度に実施した耐震診断では、耐震強度は十分との判定ができましたので、館内の空調、内装、外装などを一新し、エレベーターを新たに設置するなど、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もがゆっくりとくつろいで、読書や勉強のできる空間に改修することとしました。今年度は、基本となる計画（話し合うための計画）をつくり、令和3年度には、リニューアルオープンできるよう取り組んでまいります。

瑞穂町長 杉浦 裕之



# 資料 4 - 2

瑞穂町の図書館をつくるシンポジウム  
令和元年度 瑞穂町図書館読書講演会



講師  
**三浦文典 氏**  
みうら・たけのり

建築家。  
スターパイロツツー級建築士事務所代表。  
『こっそりごっそりまちをかえよう。』  
著者。「にしあわくらほいくえん」などの  
建物の設計や「ファームスのこどもえいが  
かん」などイベントの設計を行っている。  
「道の駅ファームス木島平」のリノベー  
ションによってグッドデザイン金賞（経済  
産業大臣賞）を受賞。

**定員 100名**  
**申込先着順**

講師  
**岡本真 氏**  
おかもと・まこと

図書館コンサルタント。  
アカデミック・リソース・ガイド株式会社  
(ARG) 代表取締役。『未来の図書館、は  
じめます』著者。富山市、恩納村（沖縄  
県）、須賀川市（福島県）、西ノ島町（島  
根県）名取市（宮城県）、長崎県等におい  
て注目の図書館整備に関わるなど、市民参  
加による施設づくり、地域づくりを行って  
いる。



## 2冊の本から考える、 みずほのまちと図書館の未来

令和元年7月15日（祝）

13:30開場 14:00開演

申込方法：6月1日（土）から受付。電話またはメールにて瑞穂町  
図書館へお申込み下さい。メールの場合は、件名に  
「読書講演会申込み」と入れ本文に参加者全員のお名前  
と電話番号を明記して下さい。

電話：042-557-5614

E-mail：[toshokan@town.mizuho.tokyo.jp](mailto:toshokan@town.mizuho.tokyo.jp)

会場：瑞穂町郷土資料館 けやき館 多目的室

問合せ：瑞穂町図書館

主催：瑞穂町教育委員会

